

経営比較分析表（令和6年度決算）

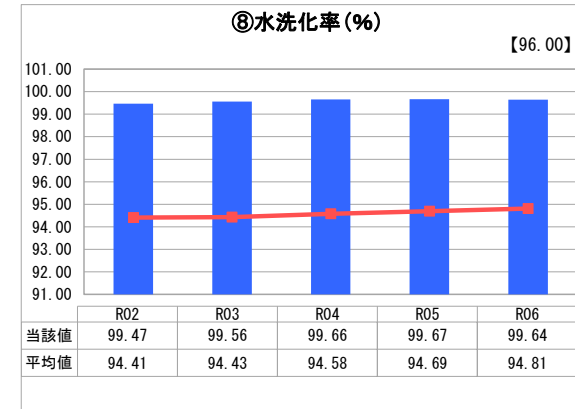
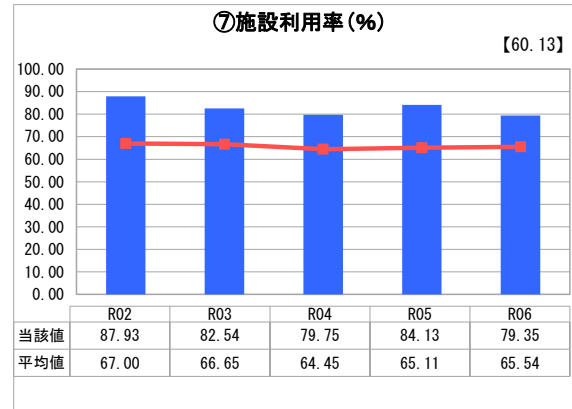
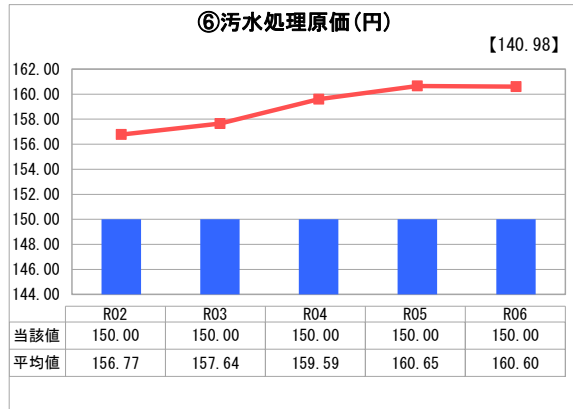
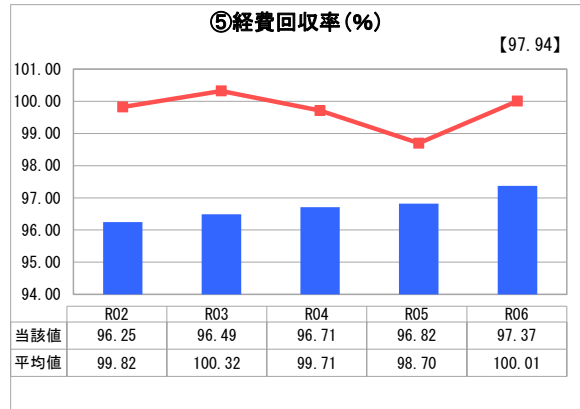
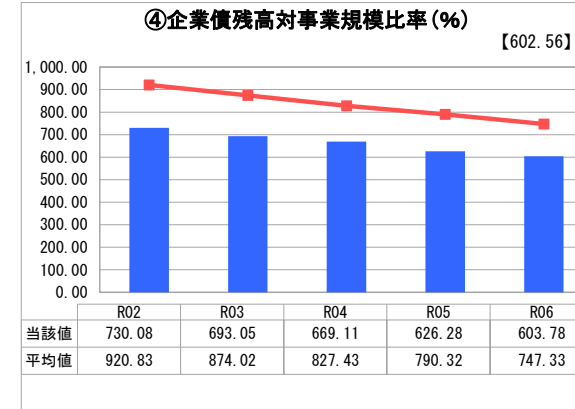
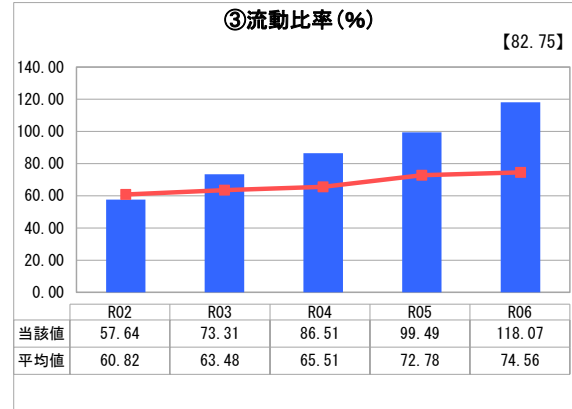
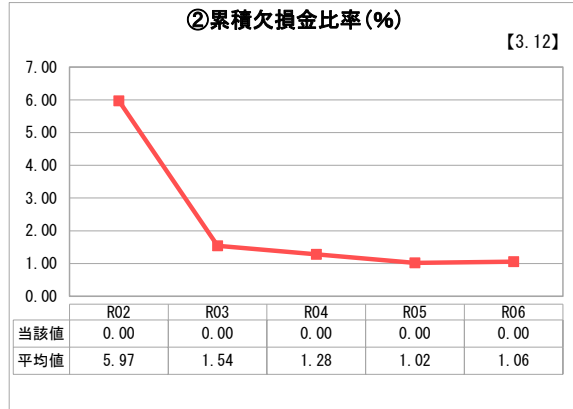
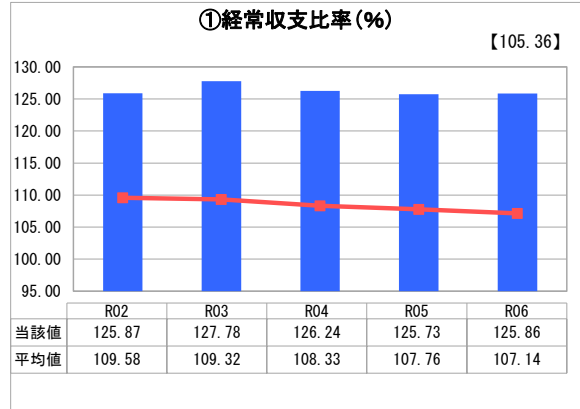
山梨県 甲府市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.39	82.35	63.61	2,431

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
183,850	212.47	865.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
150,704	32.17	4,684.61

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度と比較して若干上昇し、引き続き100%を上回っていることから、使用料収入等により維持管理費や支払利息等の費用を賄っている。類似団体の平均値と比較して高い数値であり、安定した経営状況を維持している。

流動比率は、企業債の償還額が減少したことで前年度に引き続き上昇し、類似団体の平均値よりも高い水準を維持している。短期的な債務に対しては、下水道使用料や一般会計繰入金・国庫補助金等の収入で賄うことができ、支払い能力は確保できている。企業債償還高対事業規模比率は、企業債の償還が進んでおり、類似団体の平均値と比較して低い数値である。

経費回収率は、前年度と比較して上昇しているものの、類似団体の平均値と比較して低い数値であり、汚水処理原価は前年度と同程度である。

施設利用率は、前年度と比較して上昇しており、類似団体の平均値と比較しても高い数値となっている。（※表中の⑦施設利用率における令和5年度の数値84.13は誤りで、正しくは77.94である）

水洗化率は、前年度とほぼ横ばいであり、類似団体の平均値と比較して高い数値となっている。今後も効果的な普及活動を進め、水洗化率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

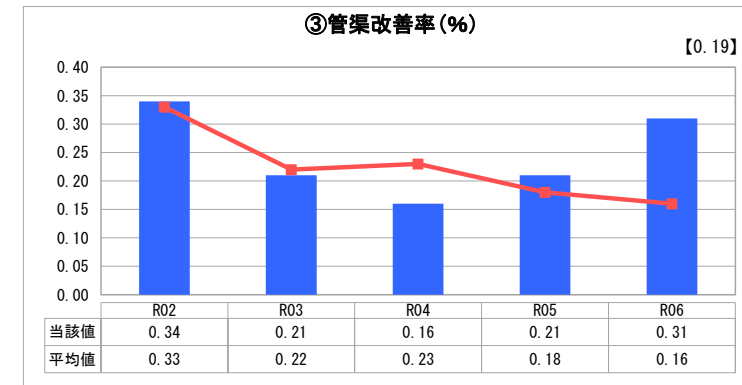
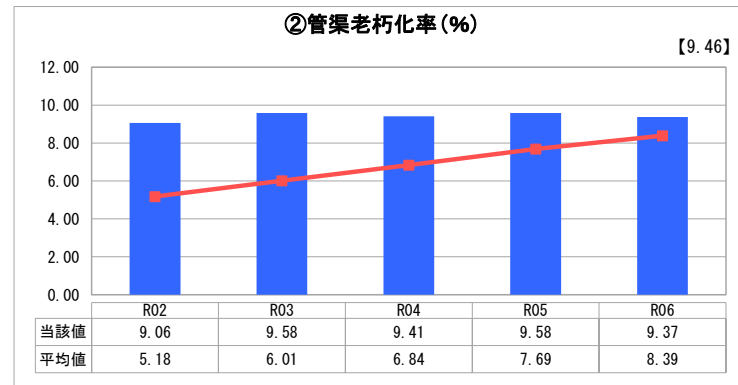
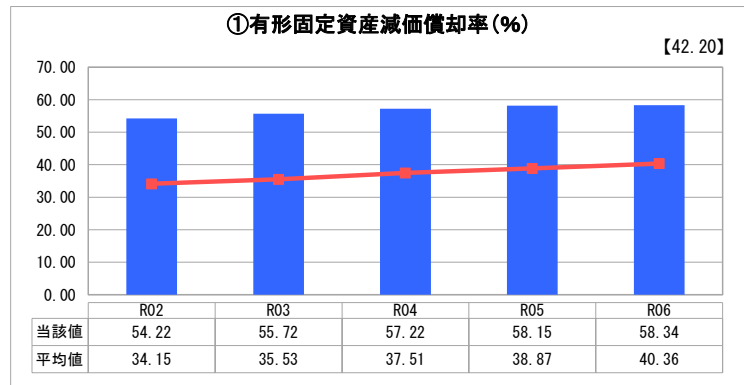
有形固定資産減価償却率は、前年度と比較して上昇し、類似団体の平均値と比較しても高い数値となっている。

管渠老朽化率は、前年度と比較して僅かに下降したが、類似団体の平均値を上回っている。

管渠改善率は、前年度と比較して上昇しており、類似団体の平均値を上回る数値となっている。

今後も「甲府市公共下水道ストックマネジメント計画」等に基づき、施設の適切な維持管理を行うとともに、更新投資の適正化を図り、施設や管渠の改築を効果的に進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市の下水道事業は、高度経済成長期に整備した施設の更新時期を迎えるとともに、人口減少等による収入減の傾向が継続する厳しい経営環境のなか、経営戦略に基づく事業を着実に進め、経営の改善に努めてきた。

企業債償還額の減少により流動比率など一部に改善がみられるが、経費回収率等の指標からは、さらに経営の健全性・効率性を高める必要があると判断できる。

物価及び労務費の高騰により、今後も経常費用の増加が見込まれるが、「甲府市上下水道事業経営戦略2025」に基づき、中・長期的視点に立った経年化施設の整備及び管路更新等の事業を着実に進めることにより、施設の強靱化等を図り、将来に健全で安定した下水道事業を繋げられるように、効率的な事業経営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。